

左官小史 —東京編—

A Short History of Tokyo SAKAN

江戸時代から近代へいたる東京左官の歩みを、時代を画する建物と江戸前左官の技術トピックスでたどります。

A Short history of Tokyo SAKAN was described on this panel, from the viewpoint of the representative architectures and Tokyo SAKAN's characteristics.

城郭建設により壁工事が飛躍的に増大した

The production of plastered walls increased rapidly with the construction of large castles.



総漆喰塗込式の姫路城(1601年)
Himeji Castle

茶人により荒壁の美が発見された

Tea masters, such as Sen-no-Rikyū were the first to discover the deep beauty in the plastered wall.



荒壁の美を見いだした
千利休作といわれる茶室待庵
(安土桃山時代)
Tea Ceremony house Taian

江戸の町に有力な商人の土蔵が林立した

The city of Edo had many mud-wall storehouses of prominent merchants.



「名所江戸百景 日本橋通一丁目略図」
(都立中央図書館特別文庫室所蔵)
(1858年)
A Landscape in Edo Nihonbashi described by Hiroshige

江戸時代を通じ、色付壁や鍔細工など、日本壁の技術が革新的に進展した

In the Edo period, various techniques like the colored wall and the ornamented wall were innovated.



鍔細工の名工・伊豆長八による浄感寺内長八記念館・飛天(1845年)
Izu-no-chohachi's decorated works

多様な左官の技が明治の文明開化で花開いた

The technique of the SAKAN blossomed during Meiji era Westernization.



左官・吉田亀五郎が活躍した為替座三井組
(日本銀行貨幣博物館蔵)(1872年)
Western style architecture Kawaseza Mitsui Kumi

近代和風住宅で精緻な左官の技が凝縮された

Traditional Japanese living spaces exhibit the plasterer's delicate technique.



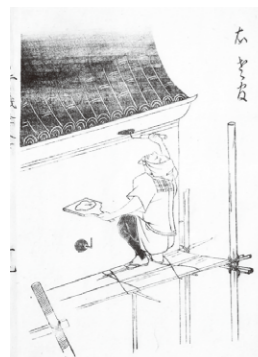
洗練化された日本壁の極致をみせる
遠山記念館(1936年)
Toyama Memorial Museum

戦国時代	江戸時代	1800	1850	明治	大正	昭和
	1600	1700			1900	

江戸前左官

Working Style of Tokyo SAKAN

明治初頭に描かれた左官の仕事を描く絵図。半被をきた姿や鍔の形状など、江戸から明治にかけての江戸前左官を伝えます。



「七十一番職人歌合」
竹中大工道具館蔵
Seventy-one workmen's waka competition

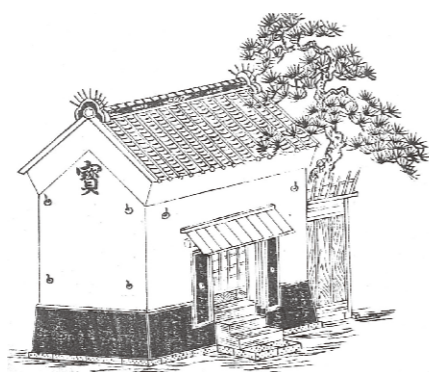


「衣喰住之内家食幼絵解之図」
曜齋国輝作／竹中大工道具館蔵(1873年頃)
Drawing for Introduction of a Craftman's Works for a Child

土蔵

Storehouse with Plastered Wall

江戸の町といえば、重厚な土蔵造りの景観。富の象徴といえる土蔵造りは、江戸の左官職人が発達させた技術です。



「明治新選大工土蔵雛形」
竹中大工道具館蔵(1897年)
Drawing for introduction of Godown

漆喰彫刻

Plasterer Sculpture

江戸時代の末期、鍔で精緻な造形をつくる漆喰彫刻が考案され、左官が活躍する場が美術的方面へも広がりました。

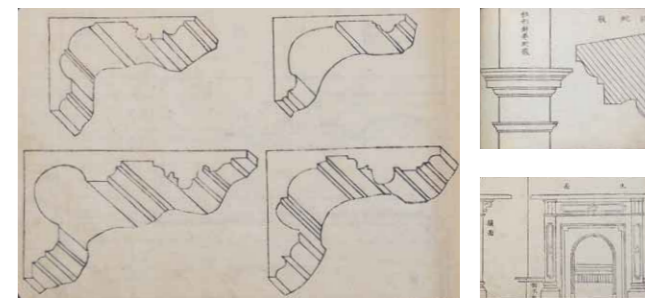


「初心手引左官雛形」
柴井重次著／竹中大工道具館蔵(1856年)
Drawing Manual for Beginner Plasterer
上・下巻の二冊からなる左官のための雛形(技術書)です。上巻では土蔵を事例に、鉢巻や軒廻り、戸前などの詳細図とともに、形態や割付を説明しています。下巻では持ち送りや絵様など、装飾的な図案を掲載しています。

洋風建築

Western Style Architecture

彫刻や色付けなど、江戸時代に熟成した左官の技は、明治の洋風建築に応用され、左官技術の最盛期を迎えます。



「和洋左官雛形」
泉幸次郎著／鈴木光蔵(1902年)
Drawing Manual for Japan and Western Mix Plaster Design
雛形本の形式をもち、「西洋造」の立面を描き、天井蛇腹の線形や持ち送り、様々なマンテルピースの見本例を図示。一方で後半では、伝統的な土蔵や土堀、江戸時代以来の絵様の図解もあわせて掲載されています。